

習得につながるインプット・インタラクション  
—教師による効果的な英語の使い方—

浦野 研 (北海学園大学)  
urano@ba.hokkai-s-u.ac.jp

1

## はじめる前に



2

## はじめる前に

- 「講演」ではなく「提案」と思ってください。
- 質問だけでなくご意見もお寄せください。

3

## はじめに

謝 辞

自己紹介

ジレンマ

4

## 研究者の役割・教師の役割

### 研究者

- ガイドラインの整備（抽象化）
- Methodological Principles (MPs)

### 教 師

- 現場への適用（具体化）
- Pedagogic Procedures (PPs)

10

## 研究者の役割・教師の役割

- 個々の教師は、言語習得の原則を踏まえた上で、それぞれの実情に合わせて、様々な選択肢から有効となるものを取捨選択していかなければならない。その際に重要となるのが、教師の授業の根幹にある「英語習得観・教育観」である。（和泉, 2009, p.v）

11

## 研究者の役割・教師の役割

- 「英語習得観・教育観」を持たずに行き当たりばったりで色々なアイデアや指導技術を使っても、指導に一貫性がないため効果が上がりにくい。
- 「良い実践」をみつけて自分でも取り入れようと思っても、どこがどう良いのかわからないまま真似をしても上手くいかないことが多い。

12

## 研究からいえること①

### インプットの重要性

- No input, no language learning.
- 限られたインプット源
  - 教室外のインプット
  - 教科書のインプット
- インプット源としての教師の役割

14

## 研究からいえること①

### インプットの重要性

- 日本語の使用
  - 必ずしも悪くはない、ただし
  - The more Japanese, the less English.
  - 「なんとなく」使わない

15

## 研究からいえること②

### Methodological Principles

- Methodological Principles are universally desirable instructional design features, motivated by theory and research findings in SLA, educational psychology, general educational curriculum design, and elsewhere, which show them either to be necessary for SLA or facilitative of it. (Long, 2009, p. 376)

16

## 研究からいえること②

### Methodological Principles

(Doughty & Long, 2003, p. 52; Long, 2009, pp. 386-387 に基づく)

#### ACTIVITIES

- MP1 Use task, not text, as the unit of analysis.
- MP2 Promote learning by doing.

#### INPUT

- MP3 Elaborate input (do not simplify; do not rely solely on "authentic" texts).
- MP4 Provide rich (not impoverished) input.

#### LEARNING PROCESSES

- MP5 Encourage inductive ("chunk") learning.
- MP6 Focus on form.
- MP7 Provide negative feedback.

- MP8 Respect "learner syllabuses"/ developmental processes.

- MP9 Promote cooperative/ collaborative learning.

#### LEARNERS

- MP10 Individualize instruction (psycholinguistically, and according to communicative needs).

17

## 研究からいえること②

### Methodological Principles

- MP8: Respect "learner syllabuses"/ developmental processes.
  - 「教える」 ≠ 「習得する」
  - いつ習得するかは決められない
  - 「餌をまく」「肥料を与える」

18

## 研究からいえること②

### Methodological Principles

- MP4: Provide rich (not impoverished) input.
  - 未習項目を含んだインプット
  - どうやって理解を助ける？

19

## 研究からいえること②

### Methodological Principles

- MP3: Elaborate input (do not simplify; do not rely solely on "authentic" texts).

20

## 研究からいえること②

1. Everybody knows that Mike is *diligent* and kind to others.
2. Everybody knows that Mike is *hardworking* and kind to others.
3. Everybody knows that Mike is *diligent, or hardworking, and kind to others.*
4. Everybody knows that Mike is diligent and kind to others. *Do you know what diligent means? (No.) It means hardworking. So Mike is hardworking and kind to others.*

21

## 研究からいえること②

- 簡略化 (simplify) したインプットは、理解を助けても習得を助けない。
- 精緻化 (elaborate) したインプットは、理解を助け、習得も助ける。
- インタラクション修正も、理解を助け、習得も助ける。

22

## 研究からいえること②

### Methodological Principles

- MP5: Encourage inductive ("chunk") learning.
  - インプットをたくさん与えることで、習得が進む

23

## 研究からいえること②

### Methodological Principles

- MP6: Focus on form.
- MP7: Provide negative feedback.
  - 意味重視の活動だけでは不十分
  - 形式に (も) 意識を向けさせる活動

24

## Focus on Form

- During an otherwise meaning-focused classroom lessons, focus on form often consists of an occasional shift of attention to linguistic code features—by the teacher and/or one or more students—triggered by perceived problems with comprehension or production. (Long & Robinson, 1998, p. 23)

25

## Focus on Form

FonFの指導方法 (Doughty & Williams, 1998; 村野井, 2006, p. 106 に基づく)

	障害しない (unobtrusive)	↔	障害する (obtrusive)
インプット洪水 (input flood)			X
タスク必須言語 (task-essential language)			X
インプット補強 (input enhancement)		X	
意味交渉 (negotiation)		X	
リキャスト (recast)			X
アウトプット補強 (output enhancement)		X	
インタラクション補強 (interaction enhancement)			X
ディクトグロス (dictogloss)			X
意識高揚 (consciousness-raising)			X
インプット処理 (input processing)			X
ガーデン・パス (garden path)			X

26

## 英語教師の役割

### Pedagogic Procedures

- Whereas Methodological Principles are putative language teaching universals, *Pedagogic Procedures* comprise the potentially infinite range of options for instantiating the principles at the classroom level. (Long, 2009, p. 376)
- 実際の指導方法・内容の決定権 (および責任) は現場の教師にある

27

## 英語教師の役割

### 習得につながる役割

- 良質なインプット・インタラクションの提供
- 生徒の観察 (何ができて、何ができないのか)
- 適切なフィードバック、サポート

28

## 英語教師の役割

### 必須条件

- 高度な英語コミュニケーション能力
- 日々の努力
- 教師による英語使用のガイドライン

29

## MERRIER Approach

- MERRIER Approachは、英語教師がより効果的に授業を行うためのガイドラインとして... 提唱された。... 理解可能なインプットを十分に与えることによって第2言語習得が促進されるという立場にもとづいて、学習者にわかりやすい英語を話したり書いたりする場合に留意する指標として提案された。(渡邊他, 2003, p. 18)

30

## MERRIER Approach

- この教授法は、日本の教育事情... と日本人英語学習者の特性を考慮し... 日本人によって考案されただけに、現在のところ短所は見つからない。強いて言えば、やはりこの教授法を使って授業をする教師にはかなりの英語力が必要となるが、逆に、この教授法を使っている内にその教師の英語力が向上する可能性は大きいので、同時に長所ともなる。今後ますます普及することが期待される。(鈴木, 2005, pp. 49-50)

31

## MERRIER Approach

指針	定義
(1) Model/Mime	言語外情報を活用する。見本を提示する。
(2) Example	抽象的な内容を具体的に示す。
(3) Redundancy	同一内容を別の発想で言い換える。
(4) Repetition	大切なことを繰り返す。
(5) Interaction	学習者とやりとりをする。
(6) Expansion	学習者の発話を活かしながら修正して繰り返す。
(7) Reward	学習者の反応に対して肯定的なコメントをする。

(酒井, 2003, p. 4 に基づく)

32

## I. Model/Mime

- 言語外情報を活用する。見本を提示する。



33

## 2. Example

- 抽象的な内容を具体的に示す。
  - How tall is the Statue of Liberty?

34

## 3. Redundancy

- 同一内容を別の発想で言い換える。
  - The Statue was given to the U.S. by France.

35

## 4. Repetition

- 大切なことを繰り返す。
  - The Statue was given to the U.S. by France.

36

## 5. Interaction

- 学習者とやりとりをする。
  - The internal framework of the Statue was designed by someone who also designed a very famous structure.

37

## 6. Expansion

- 学習者の発話を活かしながら修正して繰り返す。

T: Do you know where the Statue is?

S: アメリカ?

38

## 7. Reward

- 学習者の反応に対して肯定的なコメントをする。

39

## おわりに

- インプットの重要性
- rich input の提供
- 言語形式への気づき
- 英語使用の指標としての MERRIER Approach

40

## 引用文献・参考文献

- Doughty, C. J., & Long, M. H. (2003). Optimal psycholinguistic environments for distance foreign language learning. *Language Learning & Technology*, 7, 50-80. Retrieved from <http://llt.msu.edu/vol7num3/doughty/default.html>
- Doughty, C., & Williams, J. (Eds.) (1998). *Focus on form in classroom second language acquisition*. Cambridge, UK: Cambridge University Press.
- 和泉伸一. (2009). 『フォーカス・オン・フォーム』を取り入れた新しい英語教育』. 東京: 大修館書店.
- Long, M. H., & Robinson, P. (1998). Focus on form: Theory, research, and practice. In C. Doughty & J. Williams (Eds.), *Focus on form in classroom second language acquisition* (pp. 15-41). Cambridge, UK: Cambridge University Press.
- 松村昌紀. (2009). 『英語教育を知る8の鍵』. 東京: 大修館書店.
- 村野井仁. (2006). 『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』. 東京: 大修館書店.
- 酒井英樹. (2003). 『序章: MERRIER Approach の7つの指針』. 渡邊時夫・酒井英樹・塩川春彦・浦野研 (編), 『英語が使える日本人の育成: MERRIER Approach のすすめ』 (pp. 3-4). 東京: 三省堂.
- 鈴木寿一. (2005). 『英語教授法解説』 小寺茂明・吉田晴世 (編著). 『英語教育の基礎知識—教科教育法の理論と実践』 (pp. 35-55). 東京: 大修館書店.
- 渡邊時夫・酒井英樹・塩川春彦・浦野研 (編). (2003). 『英語が使える日本人の育成: MERRIER Approach のすすめ』. 東京: 三省堂.

41